

市長への手紙から

～蒲郡の道路の現状と今後～

市民の皆さんが日ごろ思っているまちづくりへの意見やアイデアを、手紙で市長に送る「市長への手紙」。稲葉市長が就任して初めてとなるこの事業に、266人の方から貴重なご意見をいただきました。
特に今年は、蒲郡の道路について多くの方からご意見をいただきましたので、今号では、蒲郡の道路の現状と今後の見通しについてお知らせします。

企画広報課 ☎66♦1145

国道23号バイパス

■蒲郡バイパス

蒲郡バイパスは名古屋市と豊橋市を結ぶ地域高規格道路「名豊道路」の一部として計画され、東は豊橋バイパスに、西は岡崎バイパスに接続する延長約15.0kmの道路として、国土交通省名四国道事務所が整備を進めています。

■道路の進捗状況

蒲郡バイパスは、蒲郡市清田町（仮称・蒲郡IC）から幸田町荻谷（幸田荻谷IC）の西部区間5.9kmが平成9年度に事業化され、豊川市為当町（豊川為当IC）から蒲郡IC（仮称）の東部区間9.1kmは平成19年度に事業化されました。

この蒲郡バイパスは、名豊道路の中で最も起伏の激しい山地部分を通過するため、名豊道路で初めてのトンネル6カ所（西部3カ所、東部3カ所）がある区間となっています。

現在、暫定2車線の早期開通をめざし、西部区間については道路建設工事が進められており、昨年度までに、西部区間のトンネル3カ所が貫通しました。

この西部区間には、幸田荻谷I

C・蒲郡西IC（仮称）・蒲郡IC（仮称）の3つのインターチェンジが建設されます。現在、幸田荻谷ICでは、地山掘削・土砂運搬を、蒲郡西IC（仮称）では盛土工・排水工を行っています。

また、蒲郡IC（仮称）では、橋梁の工事が進められており、平成25年度以降の開通を目指して施工が行われています。

なお、これらの進捗状況については、国土交通省名四国道事務所ホームページで確認することができます。

東部区間にあたる蒲郡IC（仮称）から東側においても、西部区間の開通に引き続き事業を推進できるよう、今年度から事業用地の取得に着手しています。



工事が進められる蒲郡西IC（仮称）